

実施計画事業名		学校教育振興事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		教育部 学校教育課		課長(主幹)名	青山 等			
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	2	時代に即した学校教育の推進					
	施策	2	確かな学力の定着を図ります					
	関連施策							
現状と課題	学校の教育活動に要する経費を計画的に予算措置し学校へ配当している。また、小中学校での少人数学級や少人数指導のための市費負担教員や特別な支援を必要とする児童生徒のための支援員、学校図書館の充実を図るための学校図書館協力員などを配置している。							
目的	教育の目標が達成されるよう、必要な教育環境の充実を図る。							
5ヶ年開の施策展開	学校配当予算の計画的な措置、市費負担教員や特別支援教育支援員、学校図書館協力員の配置を行う。							
成果指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度	
	学校教育推進計画に基づく取組		%	目標	100	100	100	
説明	学校教育推進計画に基づく取組への評価			実績	80.3	72.4		
活動指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度	
	特別支援教育支援員の配置		人	目標	12	12	12	
	説明	特別支援教育支援員の数			実績	18	25	
	学校図書館協力員の配置		人	目標	9	9	9	
	説明	学校図書館協力員の数			実績	9	9	
	学校配当予算額		千円	目標	44,716	44,716	44,716	
	説明	学校配当予算額			実績	49,195	46,575	
				目標	-	-	-	
説明				実績				
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)	千円	113,096	108,765	113,423	市費負担教員採用事業 (は秘書人事課(職員費) で予算措置されている。		
	国庫支出金	千円	8,100	0				
	道支出金	千円	0	0				
	起債	千円	0	0				
	その他	千円	0	0				
	一般財源	千円	104,996	108,765	113,423			
	この事業にかかる職員数	人/年	1.48	1.72	1.72			
人件費(B)	千円	10,250	11,681	11,681				
計(A+B)	千円	123,346	120,446	125,104				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 平成21年度から市内5小学校に加え、4中学校にも学校図書館支援員を配置し、学校図書館の充実を図っている。 平成22年度は特別支援教育支援員を増員し、特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実を図った。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>b</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する>
	引き続き計画的な予算の配当や特別な支援を必要とする児童生徒への支援、学校図書館協力員を配置など、教育の目標が達成されるよう、必要な教育環境の充実を図る。

【2次評価】

成 果	<b>b</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし						
	<2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--